

みんなで楽しくレクリエーション！ 「子ども会インリーダー研修」



CONTENTS

平成24年 夏の白川村成人式	2
祝 敬老の日 長寿番付表	5
国民年金保険料 後納制度について	8
INFORMATION 暮らしの情報	10



祝成人！平成24年

真夏の白川村成人式

浴衣姿で二十歳の誓い

8月14日(火)平成24年白川村成人式が合掌造り民家園内の芸能堂で開催されました。村の成人式は、雪の多い1月を避け、32年前からお盆の帰省に合わせて行っており、今年には15人(男性7人、女性8人)が浴衣姿などで出席され、成原村長をはじめ村議会議員、高殿・川上両県議

会議員、新成人恩師ら55人が新成人の門出を祝いました。式典では、新成人たちがそれぞれの近況を語り、村長より「夢を抱き、目標を目指して頑張っていたらいい。そして、自分自身の命を軽んじないで、命を大切にできる人間になってほしい。」と式辞を述べました。また、新成人

を代表して高桑舞さん(鳩谷)が「みなさんから戴いた温かい励ましの言葉や、激励のメッセージを胸に、社会的責任と義務を自覚し、故郷白川村を誇りに持ち続け、一生懸命生きていきます。」と誓いの言葉を力強く述べられました。式典の終了後には、新成人を祝う記念コンサートとして



「中部フィルハーモニー交響楽団」による弦楽四重奏の演奏を楽しみ、最後の曲では白川中学校校歌が演奏され、新成人たちは懐かしみながら全員で校歌を合唱しました。恒例となった新成人いろいろ談義では、成人式実行委員長の高島祐哉さんを座長に村長、教育長、実行委員会らと「社会人としての自覚や必要なこと、故郷についての思い」などを語り合いました。「白川村の好きなお店、嫌いなところ」の談義では一人ずつ意見を述べ、好きなお店は「自然が多い、星がきれい、おちつく、温かい人間関係」、嫌いなお店は「親密すぎる人間関係、有名すぎる、買



平成24年新成人者

(50音順・敬称略)

- 加藤 有香 (馬 狩)
- 小坂 翔平 (平 瀬)
- 清水 顕治 (荻 町)
- 白井 あみ (飯 島)
- 高桑 舞 (鳩 谷)
- 田中 周 (飯 島)
- 田中 久登 (牧)
- 谷藤佳菜子 (島)
- 西村 岳洋 (荻 町)
- 根尾 哲平 (荻 町)
- 野村明日香 (荻 町)

物ができない」という意見や、「合掌造りの伝統や自然が世界遺産になったはずなのに土産物店などが多くなりすぎて違和感がある。」「村民と観光客のニーズがずれている。自然が減って将来の子供たちが白川村の良いところは自然と言えなくなるのが心配。」など様々な意見が挙げられました。

また、成人式に出席された中学時代の恩師である椿倉大裕先生は、「今日のいろいろ談義で白川村のことを考えるみんなの姿を見て、5年間の成長を感じることができともうれしかった。」と話されました。

二十歳の一行詩

新成人になられた皆さんから一行詩をいただきましたので一部を紹介します。

- 野村 聖人 (荻 町)
- 林 航平 (荻 町)
- 古屋 翔 (平 瀬)
- 堀 友莉香 (島)
- 松古 知之 (荻 町)
- 水野 礼菜 (荻 町)
- 宮部 綾 (鳩 谷)
- 村瀬 友規 (平 瀬)
- 山越 祥子 (平 瀬)

・どこにいても白川がやっぱり一番です。

・離れて気付いた多くのこと。



変わらぬ笑顔が一番の支え。白川は私の原点。誇れる故郷は私の自慢！

たまに白川に帰ってくるのと、色々な人に声をかけられます。改めて私の今までが詰まった場所だと感じました。そしてどこかホッとする。やっぱり地元は良いものです。

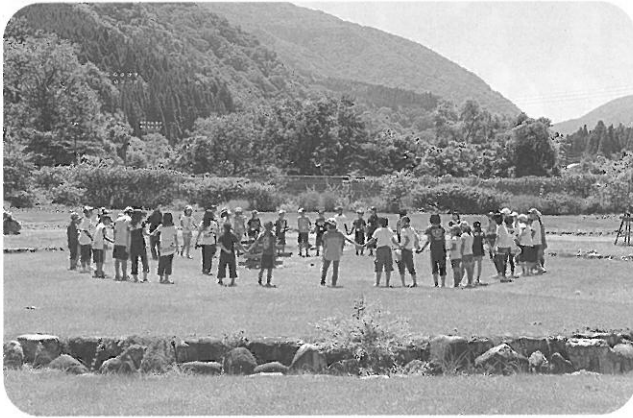
・頑張らなきゃいけないときに思い出す家族がいる。帰って来られるふるさとがある。ありがとう白川

・二十歳になり、やっと夢に近づきました。絶対に夢を叶え、皆に夢と感動を与えられるよう頑張ります。



ひとりだちを目指して **学び!** **協力!** **輝く!**

白川村子ども会『インリーダー研修会』開催

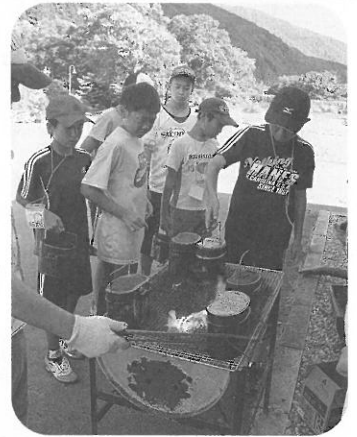


8月1日(水)・2日(木) 子ども会育成委員会が主催するインリーダー研修会が1泊2日で平瀬温泉キャンプサイトにて行われました。インリーダーとは子ども会の中のリーダーのことで、子どもたちが自主的に活動できるように養成するための研修会です。育成委員会のねらいとして「リーダーとしての知識や技術を身につける」、「仲間と協力し合い活動をやりきる」、「自分の良さ仲間の良さをみつける」ことを目的として、子どもたちの「ひとりだち」を目指しています。



「自分の良さ仲間の良さをみつける」ことを目的として、子どもたちの「ひとりだち」を目指しています。

研修会には、小学6年生・中学1年生の児童生徒のほか高校生ジュニアリーダーなど59名が参加し交流を深めました。特にこの研修会では、ジュニアリーダーが中心となって小中学生を指導し、6つの班に分かれた子供たちだけでレクリエーションの計画から交流するまでを話し合い活動しました。また夕食づくりでは、各班で協力しておいしいカレーを作ることができました。今回の研修日程で行われた全ての活動において子どもたちがリーダーとなり、目標を達成するためにみんなで協力し合っ



て取り組む姿を見受けることができました。



「ひとりだち」へむけてのアドバイス

～ジュニアリーダーより～

研修の最後に、ジュニアリーダーの石田葵さん(稗田)と松古奈々さん(荻町)から参加者へアドバイスをいただきました。良かったこととして、「レクリエーション活動で、男女ともに仲良く取り組める内容の工夫があったこと」、「説明の場面で見本を見せる班があったこと」、「班長以外の子でも声をだし指示ができたこと」、「安全に気を付けた取り組みができたこと」を評価しました。また、今後気を付けてほしい課題として、「人の話が聞けていない」、「時間が守れなかったこと」を指摘し、これからの学校生活や私生活の中で気を付けて頑張してほしいとアドバイスしました。

